

五感の翼  
を広げよう

iichiko  
総合文化センター  
大分県立美術館

抽選で/  
読者プレゼント!!  
詳しくは裏面をチェック!

総合情報誌

2024  
SUMMER

105

Take Free



葛飾北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》天保2～4年(1831～33)頃 東京都江戸東京博物館蔵

展示期間 7/26(金)～8/12(月・振休)

CONTENTS

養老孟司と小檜山賢二「虫展」  
～みて、かんじて、そしてかんがえよう

十三代目 市川團十郎白猿襲名披露巡業

【鑑賞支援つき】詩を<sup>たの</sup>愉しむ日本の歌コンサート

レクチャー付きオーケストラコンサート

広重と北斎

富嶽三十六景への挑戦  
江戸東京博物館コレクションより

担当学芸員の一押し!

# 北斎と広重

富嶽三十六景への挑戦  
江戸東京博物館コレクションより

会期 7/26(金)~9/8(日)  
8/19(月)は展示替えのため休業  
会場 大分県立美術館 3階 コレクション展示室

北斎・広重の  
名作の数々がやってくる!

本展では現在休館中の東京都江戸東京博物館のコレクションから、風景版画で双璧をなす葛飾北斎(1760~1849)と歌川広重(1797~1858)、二人それぞれの風景画への「挑戦」に焦点を当て、名作「富嶽三十六景」「東海道五拾三次之内」などの代表作を中心に紹介します。

葛飾北斎は長い画業のうちに春朗から宗理、北斎、戴斗、為一、画狂老人と名前を変え、摺物、読本、風景版画、肉筆浮世絵など幅広いジャンルで活躍しました。変えたのは名前だけでなく、なんと生涯に90回以上の引越をしたことでも知られています。歌川広重は、定火消(江戸幕府の職名のひとつで、消防の役割を果たした)の安藤家に生まれましたが、浮世絵師の歌川豊広に弟子入りし、20歳過ぎには作品制作を始めました。定火消との兼業で制作を続けますが30代半ばで遂に隠居し、その後刊行した「東海道五拾三次之内」でブレイクを果たしました。

「富嶽三十六景」全点展示!  
お見逃しなく!

葛飾北斎の名作「富嶽三十六景」を本展ではなんと全点展示します!(作品は期間を分けて展示されます)

「富嶽三十六景」は天保2(1831)年から4(1833)年頃にかけて発表された、36図に好評で追加となった10図の計46図からなるシリーズ。18世紀にヨーロッパから輸入された新しい青色の顔料、ベロ藍(ブルシアンプル)を大胆に用いた風景版画です。中でも新千円札の絵柄にも使用される「神奈川沖浪裏(写真1)は誰もが知る作品。躍動的で迫力のある大波の動的な表現に対して、その奥に堂々とそびえる富士山との静動の対比は、北斎の瞬を切り取る構図の妙が遺憾なく発揮された傑作と言えるでしょう。

また通称「赤富士」として知られる「凱風快晴(写真2)も北斎の代表作のひとつ。凱風とは初夏のそよ風のことで、夏の日の早朝、朝焼けで富士山が赤く染まった風景を描いています。深い青色の空と、対照的な赤色の富士山の鮮やかな風景が清々しい作品です。どちらもお見逃しなく!

広重の挑戦—新たな風景画

「富嶽三十六景」の刊行が終了した頃、今度は歌川広重の「東海道五拾三次之内」シリーズの刊行が始まりました。江戸と京都を結んだ東海道の53の宿場の風景、そして江戸の日本橋と京都の三条大橋の風景を加えた55図のシリーズです。今回は選り



写真1: 葛飾北斎<富嶽三十六景 神奈川沖浪裏>天保2年~4年(1831~33)頃  
展示期間 7/26(金)~8/12(月・振休)



写真3: 歌川広重<東海道五拾三次之内 庄野 白雨>天保5~7年(1834~36)頃  
展示期間 8/20(火)~9/8(日)



写真2: 葛飾北斎<富嶽三十六景 凱風快晴>天保2年~4年(1831~33)頃  
展示期間 8/13(火)~9/2(月)



写真4: 歌川広重<東海道五拾三次之内 原朝之富士>天保5~7年(1834~36)頃  
展示期間 8/20(火)~9/8(日)

見どころ紹介!

大分県立美術館学芸員 柴崎香那

日本を代表する浮世絵の名作、葛飾北斎の「富嶽三十六景」は、青を使った鮮やかな色彩と大胆な構図で人々に強い衝撃を与えました。この時、北斎は70歳を越えていましたが、長い画業の中で不断の努力を重ねていました。一方の歌川広重はこの時30歳代後半。風景画を描くもヒット作のない一介の浮世絵師にすぎませんでした。北斎の大ヒットの陰で、広重はどのように自らの画風を打ち立てていったのでしょうか。これまでも北斎と広重の富士シリーズを展示する展覧会は開催されてきましたが、本展はより踏み込んだ解釈により、風景画で双璧をなす北斎と広重の挑戦をストーリー展開で浮き彫りにする試みです。江戸東京博物館の貴重なコレクションを通して、二人の浮世絵師のあくなき挑戦の数々を名品とともに紹介します。

- 見どころ1 「富嶽三十六景」全点展示!  
(作品は期間を分けて展示されます)
- 見どころ2 北斎への挑戦状!?  
広重の旅情豊かな「新・風景画」
- 見どころ3 大分会場独自の展示コーナーで  
歌川豊春などもご紹介!

すぐりの20点を展示いたします!(作品は期間を分けて展示されます)「富嶽三十六景」の緊張感のある構図とは異なり、「東海道五拾三次之内」では様々な時間帯、天候で移り変わる景色を取り入れ、往来する人々の旅情までもが感じられるような趣の深い作風が特徴です。

「庄野 白雨」(写真3)は、シリーズを代表する作品の一つです。白雨とは夕立、にわか雨のことで、突然の雨に見舞われた旅人たちが足早に坂道を過ぎていく様子が描かれています。煙った背景の奥に見える竹林や、雨を表す斜線、画面を横断する坂道など不安定な要素を多く配して、道中の予期せぬ出来事による不安感を表しています。

また、広重もこのシリーズのいくつかの作品に富士山を描いています。中でも特に印象的な作品として「原朝之富士」(写真4)が挙げられるでしょう。

シャープな形状に山頂が平らになった富士山は、「富嶽三十六景」の「凱風快晴」の赤富士とどことなく似ているのではないのでしょうか。この作品では山頂が絵の枠を突き抜けて描かれており、雄大さが強調されています。

この他、北斎が手がけた読本や、絵手本「北斎漫画」(広重が得意とした江戸名所を描いた風景画シリーズの数々など、総点数200点以上)の大ボリュームで北斎・広重の風景版画の名品をご紹介します。貴重な作品の数々をどうぞお楽しみください。また、豊後臼杵出身のある歌川派の開祖・豊春を紹介するコーナーも設置!こちらは大大分で見ることができません。皆様のお越しをお待ちしております。

北斎と広重 富嶽三十六景への挑戦 江戸東京博物館コレクションより

開催時間: 10:00~19:00、金・土曜~20:00(入場は閉館の30分前まで) 観覧料: 一般1,400(1,200)円、大学・高校生1,000(800)円 ※中学生以下無料 ※( )内は前売りおよび有料入場20名以上の団体料金 ※大分県芸術文化友の会びびKOTOBUKI無料(同伴者1名半額)、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方とその付添者1名は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください。お問合せ: 大分県立美術館 Tel.097-533-4500



▲大好きな標本の話に花を咲かせるお二人

# 虫展

養老孟司と

小檜山賢二



YORO & KOHIYAMA "MUSHI-TEN"



ロクロクビ  
オトシフミ

くびがなが  
その名もろくろくび!

## 昆虫は感性を刺激するアート 見えないものを見る「虫展」

開催 7/13(土)~8/25(日) 会場 大分県立美術館 1階 展示室A

解剖学者の養老孟司さんは、「お金にならない本気の仕事」と語るほどの昆虫愛好家としても有名。そんな養老先生の言葉と、小檜山賢二さんの深度合成写真とでお届けする「虫展」が、まもなく始まります。その見どころを、養老先生にお伺いしました。



みて、かんじて、  
そしてかんがえよう

倍にして見るなら、1点にだけピントが合っただけの周囲はボケているものですが、小檜山さんの写真はどこを見ても全体にピントが合っているんです。

——ピントの合った部分だけを何枚も合成して、一体の虫の完全な姿を見せてくれるんですね。

そんなものを見たことがなかったから「これって何だろう。その通りなんだけどあり得ない」と目を疑ったんです。実際の世界にはないもので、頭の中で概念を整理するのに困りました。その後、落合陽さんが『デジタルネイチャー』という本を書かれて、この言葉を使えばしっくりくると納得しました。自然界では見えないものをデジタル化すると、全体を見ることができると同じように、新しい世界に感動すると思います。

——今回の展覧会は、小檜山先

生の写真を3D化する試みなどデジタル技術の面白さも醍醐味ですね。

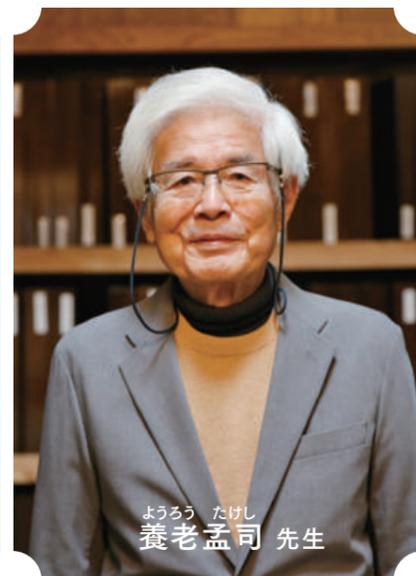
拡大して細部まで見てみると、虫のよく出来た構造に本当に驚かされますよ。それから、デザイナーの方々も参考にしているほどの色や形の面白さも見どころです。例えばインカの織物が南米にいる虫の身体の模様と似た柄になっているのは、現地の人が意図せずその影響を受けているからなんです。僕が皆さんに考えてみてほしいのは、こうした虫の構造や美しさに触れて「人間はなぜ驚くんだろう」ということ。それは「感性」があるからなんです。展覧会を見て自分が何を感じるのか? というものに感じるのか? 「キレイだ」でも

——そんな養老先生と小檜山賢二先生の世界観に触れられる「虫展」。その見どころを教えてください。

——どうして虫が好きになったのか、理由は全く分からないんです。ただ面白くて、今も虫を探す時は子どもの頃の気持ちに戻ります。以前、あるテレビ番組で虫採りに行ったのですが、その放送を見た母から「子どもの時と同じ顔をしているから安心した」と言われたことがあります。自然に関心をもつと心身ともに調子が良いし、標本づくりは手先を上手に使わなければなりませんから、いい運動にもなるんです。

——何といっても小檜山さんの昆虫の写真でしよう。今から30年ほど前、初めて彼の作品を見た時はびっくりしました。なぜかって、通常、虫を顕微鏡で見る時には全体にピントが合わないので絶えず虫を動かしながら見ます。虫を1000

### SPECIAL INTERVIEW



ようろう たけし  
養老孟司 先生

何といっても小檜山さんの昆虫の写真でしよう。今から30年ほど前、初めて彼の作品を見た時はびっくりしました。なぜかって、通常、虫を顕微鏡で見る時には全体にピントが合わないので絶えず虫を動かしながら見ます。虫を1000

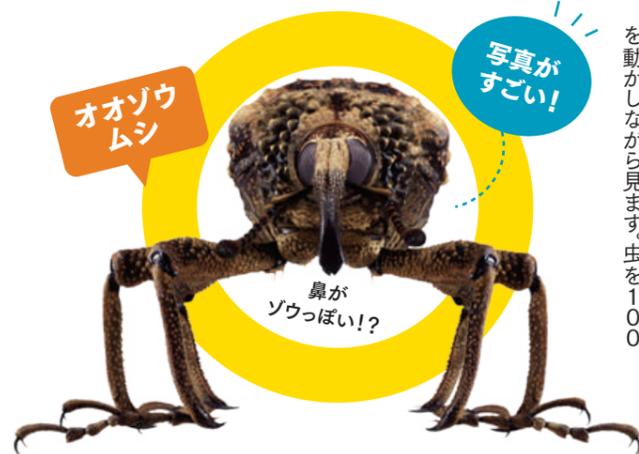


ハリネズミ  
トゲハムシ

トゲトゲが  
ハリネズミ  
みたい!



マルバネ  
トビケラ



オオゾウムシ

写真が  
すごい!

鼻が  
ゾウっばい!?

——展覧会のテーマにも「みて、かんじて、かんがえよう」とあります。

SNSやチャットGPTが普及する現代社会では、感性よりも言葉が先行しています。例えば僕はよくインタビューを受けますが、もしもインタビュアーがAIだったら? 社会がどう変化するか必ず聞いてくるでしょうね。だけど、社会が全く変化しなくても、自分が

「気味が悪い」でも、何と感ずても良いので、虫を通して自分の心の動きに目を向けてみてください。

# II 2024 コレクション展 II

## 水の情景 一生々流転

**会期** 6/7(金)～7/18(木)  
 前期…6/7(金)～7/2(火)  
 後期…7/4(木)～7/18(木)  
 休展日 7/3(水)は展示替えのため休展

**会場** 大分県立美術館 3階 コレクション展示室

### みどころ1 日本画家・岩澤重夫の 溪谷と滝をモチーフとした作品を一堂に展観

故郷の水郷・日田、何度も訪れた耶馬溪の溪谷、さらに全国の滝をスケッチして、数多くの作品を残しています。細密な筆触を重ねながら、時に激しく、時に静かに、自然の息吹、壮大さの魅力を力強く描き出しています。



岩澤重夫《天響水心》1990年(寄託品)

### みどころ2 浮世絵にみる水辺の風景

今でも暑くなると、子供たちは水遊びが大好きですね。水辺の風景や四季の移り変わり、清涼感と穏やかな暮らしの様子を描いた浮世絵もご紹介します。



溪斎英泉《子どもの川遊び》文政一・天明期

ギャラリートーク 7/7(日)、15(月・祝) 各日14:00～15:00 ※予約不要・要展覧会観覧券

**開催時間**：10:00～19:00、金・土曜～20:00(入場は閉館の30分前まで)  
**観覧料**：一般300(250)円、大学・高校生200(150)円 ※( )内は有料入場20名以上の団体料金 ※中学生以下は無料 ※大分県芸術文化友の会 びびKOTOBUKI無料、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※高校生は土曜日に観覧する場合は無料 ※県内の小学・中学・高校生(これらに準ずる者を含む)とその引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧する場合は無料 ※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方とその付添者(1名)は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください ※開催中の企画展半券提示で1枚につき1回無料 **お問合せ**：大分県立美術館 Tel.097-533-4500

同時開催の企画展

没後50年 福田平八郎 5/18(土)～7/15(月・祝)3階 展示室B

本展は、同時開催の企画展「没後50年 福田平八郎」にあわせて、福田作品の主要なモチーフである「水」に着目し、「水の情景一生々流転」と題して大分県立美術館の所蔵品をご紹介しますコレクション展です。

私たちを取り巻く自然や暮らしに欠かすことの出来ない「水」は、空から山野に雨として降り注ぎ、山々の溪谷を下り、川や湖などを巡りながら、やがて大河となって海へと広がっていきます。この変化し移り行く「水」は私たちの日々の生活に恵みをもたらし、人々の心に潤いをもたらすとともに、古くから多くの作家に着想を与えています。

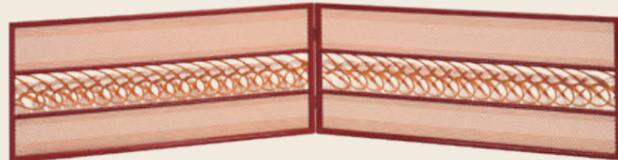
常に形をかえ、とどまることのない「水」の姿に、芸術家たちは万物の移り変わりを見、壮大な自然観やそれぞれの人生観を独自の形や色、技で表現してきました。

静かに降る雨、轟音とともに落ちる滝、ゆったりと流れる川、波しぶきをあげる海…。

鋭い観察眼によって、ほかにはない独自の「水」を探求する、その多様な表現を時代の流れやジャンルによる印象の変化とともにお楽しみください。

### みどころ3 竹工芸ならではの多様な表現

生野祥雲斎《竹組 波 風炉先屏風》は素材や材料の特質を生かした多様な表現が魅力です。曲線の美しさやエネルギー、美しい色彩、竹工芸ならではのしなやかさ、繊細さを生かした「波」をご覧ください。



生野祥雲斎《竹組 波 風炉先屏風》1954年(後期展示)

Water Scenes - All things are constantly changing

# 虫展.

ゾウカブト



変われば世界は変わって見えるんです。だから、感性が先なのです。美術館や博物館の役割は、言葉の前に感性の大切さを示すことだと思います。

—— 展覧会を通じて伝えたいことは？

あんまり虫を馬鹿にしないで！ということでしょうか。“虫ケラ”とか“虫も好かない”とか言ってるたちはネガティブな扱われ方をしますが、ちゃんと主体性をもった生き物ですから。そもそも、虫に興味がない人にとっては虫が存在しないのも同じですけど、興味があると毎日すごく気になって、虫

—— 過去に何度も来県して下さっていますが、大分県の印象は？

大分市内を散策してみると意外にビルが多くて、虫の棲家が減っていますね。今回の展覧会でもお話しに伺いますから、その際はぜひまた山に虫採りに行きたいものです。大分でも絶滅危惧種が増えていると聞いています。大分昆虫同好会の皆さんが大分県の昆虫を紹介するコーナーもありま



## 養老孟司と小檜山賢二「虫展」

～みて、かんじて、そしてかんがえよう

**開催時間**：10:00～19:00、金・土曜～20:00(入場は閉館の30分前まで)  
**観覧料**：一般1,200(1,000)円、大学・高校生1,000(800)円 ※中学生以下無料 ※( )内は前売りおよび有料入場20名以上の団体料金 ※大分県芸術文化友の会びびKOTOBUKI無料(同伴者1名半額)、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方とその付添者1名は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください。 ※本展会期中に限り、本展の半券提示でコレクション展を1回無料でご覧いただけます。 **お問合せ**：大分県立美術館 Tel.097-533-4500

—— 最後に、展覧会を楽しみにしている皆さんにメッセージをお願いします。

虫をよく見て、本気で何かを感じてくれたら嬉しいです。特に子どもさんは朝から晩まで見ていても飽きないでしょうね。僕も昔は親に「虫ばかり見ていないで勉強しなさい」なんて言われたのですが、お子さんの幸せを、どうか大人が咎めたり邪魔したりしないであげてほしいですね。

### 関連イベント

7/13(土) 14:00～15:30 小檜山賢二先生講演会 「デジタルで虫と遊ぶ」

定員 80名 講師：小檜山 賢二氏 会場：大分県立美術館 2階 研修室

本展監修者の小檜山先生から昆虫写真の見どころについて教えていただきます。

要事前申込  
要展覧会観覧券

7/20(土) 14:00～15:30 養老孟司先生×小檜山賢二先生対談「虫と遊ぼう」

定員 150名 講師：養老 孟司氏、小檜山 賢二氏 会場：大分県立美術館 3階 展示室B

本展監修者であり、大の昆虫好きでもある2人の先生に昆虫の魅力について語っていただきます。

要事前申込  
要展覧会観覧券

8/3(土) 14:00～15:30 講演会「大分の昆虫と自然」

定員 80名 講師：三宅 武氏(大分昆虫同好会名誉会員) 会場：大分県立美術館 2階 研修室

要事前申込  
要展覧会観覧券

各イベントのお申し込みは当館ホームページの申込フォームから受け付けます。(先着順、定員に達し次第締切)

# 十三代目 市川團十郎白猿

## 襲名披露巡業



開催 9/15(日)  
会場 iichikoグランシアタ

市川海老蔵が十三代目市川團十郎白猿を襲名し、約2年。大分では待ちに待った襲名披露巡業です。今回は市川團十郎白猿と重要無形文化財保持者(人間国宝)の中村梅玉、市川右團次のほか、大谷廣松、中村蒼玉、市川九團次、片岡市蔵が出演。元NHKアナウンサーで古典芸能解説者の葛西聖司さんに見どころを教えてくださいました。

### 團十郎の道

#### 襲名披露・大分公演に先駆けて

古典芸能解説者 葛西聖司



おとしの11月、東京歌舞伎座で始まった團十郎襲名披露公演。十三代目としてのお披露目が大団円を迎える。

團十郎は、本来2020年の春、誕生するはずだった。しかしコロナ禍により、一年半、順延された。歌舞伎だけではなく世界中の大混乱は、東京オリンピックでさえ、2021になってしまった。本来、新團十郎として前年にその姿を見せたはずの開会式会場から、歌舞伎十八番「暫」の雄姿を世界中に発信することができ、リベンジを果たした。奇しくも海老蔵時代の掉尾を飾ったことになる。満を持しての新團十郎。十三

代目は團十郎白猿。とある。これは「はくえん」という名を祖先の團十郎が俳号、隠居名として使っていたためであるが、13人名乗っていたわけではない。しかし、祖先の偉業をたたえる意味も含め、あえて名乗ることにしたようだ。俳号とは役者名としてより、名を譲って隠居したときや書画、発句に署名するときに使う号のことである。初めて名乗ったのは二代目團十郎。若くして亡くなった父より長生きしたいという意味も込め「栢筵」と書いて「はくえん」と読ませた。栢と同じ意味の栢だが「百」という文字がある。「筵」は竹かんむりだが草かんむりの場合もある。それは十を横に二つ並べるので二十という意味。漢字の下は延長の「延」つまり百二十歳まで生きたいという長寿の願望がこめられている。その孫にあたる五代目團十郎が音をとり「白猿」とつけ、のちに七代、八代の親子

も名乗った。「猿」はへりくだった意味もあるが、「まさるめでたき」といわれ、苦しみを「去る」にもかかけ縁起のいい名前である。そんな「物語」を当代は大切にしているといえよう。

今回は三期目の全国巡業で最後の襲名公演を締めくくる。そのため初日を成田、千秋楽を小松と決め、そのコースに大分が入っている。思いもひとしおということだろう。披露演目は第一期「勸進帳」第二期「毛抜」第三期の今回は「河内山」だ。家の芸ではないが祖父の十一代目が得意にして、亡くなって50年祭(神道なので忌ではない)のおり片岡仁左衛門に学んで初演した大切な作品だ。

初代から血がながっているわけではない。現在の團十郎家は七代目松本幸四郎家の長男の筋。それゆえ祖父への思いも大きい。襲名とは名を「襲う」のではなく「襲ふ」と読む。歴代の芸の衣を十三枚重ね、21世紀、令和の新しい團十郎の道を踏み出したといえよう。これから「名」をいかに大きくできるか、温かく見守り応援したい。

も名乗った。「猿」はへりくだった意味もあるが、「まさるめでたき」といわれ、苦しみを「去る」にもかかけ縁起のいい名前である。そんな「物語」を当代は大切にしているといえよう。

歌舞伎座の次は大都市の劇場襲名が続く、そのあと、今回のような「全国巡業」を通過ではするのだが、当代は翌年3月から早々と開始した。初日は石川県「小松市」県庁所在地ではない。なぜか？それは歌舞伎十八番といわれる、團十郎家の芸「勸進帳」のふるさとだから選んだ。弁慶が義経の危機を乗り越える「安宅の関」の町だからだ。二度目の巡業はその年の秋から。今度は千葉県。千葉市ではなく成田市。これはおわかりだろう屋号が「成田屋」だ。由来は、初代の父、堀越重蔵が成田山を信仰し子を授かったからで、当代はそのことを大切に思い初日に選んだ。

7/20(土)に葛西先生による事前レクチャーを開催！ 詳細はホームページをご覧ください

### 十三代目 市川團十郎白猿襲名披露巡業

出演/市川團十郎、市川右團次/中村梅玉 ほか  
演目/一、『祝成田橋賑』  
二、十三代目市川團十郎白猿襲名披露『口上』  
三、河竹黙阿弥作『天衣紛上野初花 河内山』  
製作/松竹株式会社 制作/株式会社3Top  
制作協力/全栄企画株式会社、株式会社ちあふる

開催時間: 13:00開演 料金: [全席指定] GS席13,000円、S席10,000円、A席7,000円、A席(25歳以下)3,000円、B席(3階席)4,000円  
お問合せ: iichiko総合文化センター[(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団] Tel: 097-533-4004

# 初めての人も

久しぶりの人も！

BEETHOVEN  
SYMPHONY NO.5 C-MINOR

オーケストラの魅力  
をリアル体験！

——前回のレクチャーコンサート\*はとも好評で、解説後の演奏も皆さん高い集中力で聴いてくれました。奏者側にも伝わりましたか？

森口 レクチャー付きコンサートは通常のコンサートとは違って、解説をつけながら細切れに演奏をしていくので、最初は九州交響楽団はどう思われるかな？と心配していたのですが、楽団側も興味深く解説を聞いてくれたようです。「ここはこうなんだ」と、一つひとつ再確認しながら演奏を進めていくので、楽団も熱が入るし、細心の注意を払って演奏するので、本番の音が違いましたね。

——今回の題材はベートーヴェンの『運命』ですが、この作品のすごさ、面白さはどんなところにありますか？

森口 ベートーヴェンの『運命』は、予備知識なしに聴いたってすぐ、強烈なインパクトがありますよね。そして音楽史的にも、ベートーヴェンの個人史的にも重要な作品だということは疑う余地がない。何も知識を入れずに楽しむのももちろん良いのですが、古い時代の遠い国の音楽ですから、ある程度の時代的、歴史的背景、そして楽曲そのものの構造を少しでも理解して聴いた方が絶対「面白い」に決まっています！それを理解して『運命』を聴いてもらえると、より「面白い」と感じるはず。例えば、ベートーヴェンにとってのハイdnやモーツァルトは、先輩であり、友人でもあり、先生でもある、切り離せない関係。彼を単独で論じるより、ハイdnやモーツァルトと比較しつつ紹介していった方が、理解がより深まるのではないかなと。音楽に限らず、芸術家というのは、過去からの遺産の上に成り立っているわけですが、ベートーヴェンのすごい所は、先輩たちのやってきたことへの破壊行為がすさまじいところ。さらに自分で完成させた様式すらも最後は自ら破壊する、そこが際立っているんです。ですから先輩たちの遺産をどう引き継いでいて、どう壊したのか分かるような構成になるといふと考えると、その理解をした上で『運命』を聞くと「確かに！」と感じてくれると思います。このコンサートへいらっしゃる方は、クラシックに興味がある方も、また久しぶりの方も初めての人もおられると思いますが、そういう方がよりクラシックを好きになっていろいろ聴いてみたり、なおかつ、「ちょっといろいろ調べてみよう」という人がでてくることになると嬉しいです。

※2022年に行ったドヴォルザーク『新世界より』を題材にしたレクチャーコンサート

## レクチャー付きオーケストラコンサート ベートーヴェン 交響曲第5番『運命』

開催時間：16:00開演 料金：[全席指定]S席3,000円、A席2,000円、25歳以下S席1,500円、A席1,000円 ※未就学児入場不可 指揮：森口真司 管弦楽：九州交響楽団 お問合せ：iichiko総合文化センター〔公財〕大分県芸術文化スポーツ振興財団 Tel: 097-533-4004



# レクチャー付き オーケストラ コンサート

## ベートーヴェン 交響曲第5番『運命』

開催 9/23(月・振)

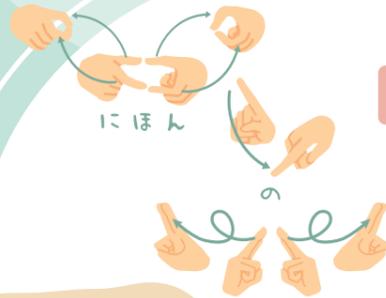
会場 iichikoグランシアタ



指揮・解説 森口真司教授

ベートーヴェンの『運命』を題材に、オーケストラや交響曲の魅力を探るレクチャー付きコンサートを開催。指揮と解説を務める、森口真司教授に公演への想いをお聞きました。

楽曲を理解して聴いた方が絶対「面白い」！



鑑賞支援つき

# 詩を愉しむ

## 日本の歌コンサート

開催 7/30(火) 会場 iichiko音の泉ホール

舞台手話通訳者の  
野上まりさん



当日は、ろうパフォーマーの鈴木玲雄さんと共に舞台手話通訳を担います

### 障がいがある人もない人もみんなが楽しめる

日本の詩の美しさや多彩な表現を"音楽"に乗せお届けするコンサート。特別支援学校や放課後等デイサービスを中心に、様々な方に描いていただいた、詩からイメージした絵も演奏に合わせて投影し、視覚的にもお楽しみいただけます。さらに誰もが同じように音楽を楽しめるよう、手話や字幕、イヤーマフといった様々な鑑賞支援つき。そのひとつ、主催公演で初めて取り入れる「舞台手話通訳」について、野上まりさんにお聞きました。

——舞台手話通訳とはどんな仕事ですか？

演劇ではセリフと共に、進行に合わせて、ドアの音や音楽が鳴っている、などの音情報を手話で伝える役割を担います。日常生活における手話通訳と異なり、台本の意図を掴んだ翻訳が必要です。日本語と英語の違いのように言葉のままを訳してもうまく伝わらなかったり、比喩的な表現や文化の違いも考慮します。情報保障としての役割だけでなく、共に舞台を創り上げるパフォーマーとして、表現の幅を広げる仕事です。

——聴覚障がい者に音を伝えるにあたり、どのようなことを大切にしていますか？

実はこれまで「手話と演劇」には関わっていましたが、「歌」は避けていました。聞こえない人にとって「音楽」を楽しむことにハードルがあると思っていたのです。しかし、この活動を続けているうちに舞台手話通訳付きのコンサートがあるということや音楽を楽しみたいと思っているろう者もいることを知りました。歌詞には歌の背景だとか、言葉通りではない深い意味が込められていることが多いので、意味を捉

えて翻訳し、ろう者に伝わるように表現することを大切にしています。翻訳作業ではろう者に表現が伝わるかを監修してもらいます。目線や手の位置、向きなど細かな違いで伝わらなったりするので、何度も修正しながら表現を創りあげます。また、歌の持つイメージや雰囲気、「楽しい」「かわいい」「悲しい」「懐かしい」といったものは表情や身体の動きも使って表現しますね。

舞台手話通訳付きの舞台を観た方の感想で特に印象に残っているのが、「音が見えました！」と言われたこと。「耳が聞こえないので、演劇を楽しむ機会がなかった。初めて演劇がこういうものだとなりました」と言われたのもうれしかったですね。

——最後に大分の人にメッセージをお願いします。

音楽の持つイメージを見える形で表現するのが役割ですが、難しさもあります。未熟な部分もあるかと思いますが、ぜひ公演を観て、いろんな感想をいただきたいですね。本番では自らも楽しんで表現し、歌手(アーティスト)と一緒に素晴らしい舞台を創り上げていきたいです。

### 鑑賞支援とは？

障がいがある人もない人も劇場という非日常空間を体験できるプログラムです。各種鑑賞支援を用意しており、事前予約が必要なものもあるので、HPにて詳細をご覧ください。



#### イヤーマフ

大きな音を和らげることができる。聴覚過敏の方が安心して公演を楽しむことができるアイテム



#### オンテナ

音を振動と光に変換。リアルタイムで音のリズムやパターン、大きさを知覚できるアイテム



ほかにも、場内を明るく、音量を小さくし、字幕や要約筆記の表示もあります。当日配布するプログラムも点字・拡大文字版を用意。その他、鑑賞にあたり不安な点がある方はお問合せください。

▲特別鑑賞室もあります

詳細はこちら



### 【鑑賞支援つき】 詩を愉しむ日本の歌コンサート

開催時間：14:00開演 料金：500円(指定席・自由席どちらも取扱いあり) ※介添者1名無料※2歳から入場可能 出演：小倉理紗子(ソプラノ)、佐々木優実(ソプラノ)、中川誠宏(テノール)、磯田健太郎(バリトン)、小町美佳(ピアノ) 曲目：金子みすゞ『わたしたちの花』ほか お問合せ：iichiko総合文化センター Tel 097-533-4004 Fax 097-533-4009 Mail kikaku@emo.or.jp

Artist



リアンデュオ  
Lien duo  
うえむらりせ ながおかまな  
上村梨世さん 永岡真奈さん

登録アーティストになって3年目を迎え、演奏中、言葉にせずともお互いの行動が分かっていたという「Lien duo」。「いろんな楽器を近くで見せてもらい、音の一つひとつを楽しんでもらえたらうれしい」という2人の思いが児童に伝わり、笑顔溢れる演奏会となりました。また、活動を通して、自分の技術面だけでなく、聴き手にとってどんな演奏会になったかを考えるようになったとのこと。「楽器についてもっと深く知ってもらうための工夫をしていきたい」と語る2人のこれからの楽しみです。

アウトリーチプログラム  
「おでかけクラシックコンサート」

6月4日(火)  
宇佐市立横山小学校

梅雨入り前のよく晴れた日、目の前に置かれた音楽室の木琴よりも大きな楽器(マリンバ)や打楽器に「何が始まるのかな?」と少し緊張した面持ちで体育館に集まった児童たち。「奏でられる一つひとつの音を楽しんでほしい」という校長先生のお話の後にLien duoの2人が登場。マリンバの演奏を始めると同時に、先生たちがマリンバを押しながら児童のまわりを一周。演奏を間近で聴けて大興奮の様子でした。2、3曲目では、アンダーソンの曲をタクシーホーンやヴィブラスラップ、スライドホイッスル、ウッドブロックなど約10種類の楽器を全身で演奏しました。途中、楽器の取り合いをするユニークなやりとりもあり、笑顔を見せる子ども



たち。タンバリンやボディパーカッションで全員が演奏に参加する「トレパック」では、キラキラと目を輝かせながらLien duoの近くに駆け寄り、だんだん早くなる曲のスピードに合わせて演奏を楽しんでいました。グレニーの「小さな祈り」では、木の温かさを感じるマリンバの音の響きにうっとりし、目を閉じて聴き入る姿も。最後は聴き馴染みのある「剣の

iichiko総合文化センター

センターでは、子どもたちに音楽家による演奏や舞台公演の鑑賞機会を提供する取り組みを、企業からの支援などにより、学校や地域と連携して行っています。その活動のひとつ、アウトリーチプログラムの「おでかけクラシックコンサート」をご紹介します。

大分県立美術館

大分県立美術館では、作品を楽しみながら自分の感覚でみるきっかけとし、手・足・目・耳など、身体全体を使いながら、美術の楽しみ方を発見するワークショップを館内でたくさん行っています。今回は、春に行われた2つのワークショップのレポートをお届けします。

福岡・大分デスティネーションキャンペーン記念  
DC×OPAM特別ワークショップ

ふわもこ@アトリウム

4月20日(土)  
大分県立美術館 1階 アトリウム



大きな布を広げて、空気ですくませ、さまざまな形に変容させる人気のワークショップ「ふわもこ」。今回は特別に、OPAM1階の開放感あふれるアトリウムで開催されました。この日参加したのは約40名の子どもと保護者のみなさん。大きな布を揺らして波を作ってみたり、順番にその上に立ってみたり、布の中に空気を集めて雲のような物体を作り、少しずつ大きくしたり、みんなで中に入ってみたり…。自分たちの身長より大きくなる白い物体の変化に「わあ〜」と声をあげながらキラキラと輝く笑顔を見せていました。

みる、つくる、かんじる  
「みんなの土曜アトリエ」  
石あそびと虹色さんご



4月27日(土)  
大分県立美術館 2階 アトリエ

この日のワークショップは「石あそびと虹色さんご」。子どもたちの前に現れたのは、大分県のさまざまな場所から集められたいろんな色や形の石ころたち。みんなはその中から好きな石を選び、思い思いに並べたり、積み重ねたり…。大きな石や小さな石を並べていくと不思議な模様が出ました。次はさんご作り。まずは実際にさんごをじっくり観察。石にアルミ箔を巻くと、カラフルで個性的なさんごがたくさん出来上がりました。ワークショップの後は、コレクション展「アートと遊び心」を鑑賞。子どもたちは楽しい解説に興味津々、充実した時間を過ごしたようです。

コレクション展を鑑賞!

最新のプログラムはこちらから ▶





場所: コトブキヤ駅南店 (大分市要町5-24)  
 対象: 高校生以上 定員: 各10名  
 開催日: 前半の部 7/14、9/8、10/13 (全て日曜)  
 時間: 午前 10:30~12:30、午後 14:00~16:00

申込方法: 氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・住所・障がいの有無・付添の有無をご記入のうえ、下記の方法でお申込みください

電話 097-533-4505  
 ファックス 097-533-4013  
 メール artbrut-oita@emo.or.jp

・午前または午後のいずれかを選択してください  
 ・複数日の申込可

後半の部は12/8、1/12、2/9、3/9に開催! 10/7より受付開始です

参加者募集中!

7.14(日)、9.8(日)、10.13(日)

## オープンアトリエ in コトブキヤ駅南

支援センターでは、障がいのある人もない人も共に楽しめる創作活動を企画し、開催しています。

「オープンアトリエ in コトブキヤ駅南」では、様々な種類の画材や道具を用意しているため、興味のあるものにチャレンジできる環境をご用意しています。また会場には、創作アドバイザーとして県内在住のアーティストも招いているので、気軽に質問もできます。ぜひ、お気軽にお申込みください。お待ちしております。

おおいた  
障がい者  
芸術文化  
支援センター



## EXHIBITION

7.2(火) - 8.29(木)

YUSUKE 作品展

## Colorful Stripes

カラフルストライプ

中津市在住のYUSUKE(牟田口祐輔)さんは、子どもの頃から色へのこだわりが強く、クレヨンでカラフルな絵を沢山描いていたそうです。支援学校の時から通いはじめた放課後等デイサービスで水彩画に会ってからは、更に創作活動に取り組むようになりました。

両利きのYUSUKEさんは絵を描く時は筆を左手に持ちます。使いたい色の絵の具をパレットに用意したら、迷うことなくスピーディーに、時には色を混ぜ、画用紙の左端から勢いよく色を塗っていきます。描く日によって様々な色合いを見せるストライプの画面。自由な心を表現するような、オリジナルのフラッグのようにも見えます。

おおいたホールナビ

## Oita Hall Navi

[大分県公立文化施設協議会加盟館が主催する舞台芸術公演情報]

### 宇宙わくわくサンデー☆宇佐

7/28(日)  
[開始] 10:00 [終了予定] 12:30

[料] 1,000円※材料費込み  
 [出] 講師:成松隆美(梅園の里天球館 館長) / 田崎裕之(JX金属関崎みらい海星館 職員)  
 [所] 宇佐文化会館・ウサノピア 小ホール  
 [問] 宇佐文化会館・ウサノピア ☎0978-33-3100 (9:00~18:00)

### 劇団四季ファミリーミュージカル 「エルコスの祈り」

8/4(日)  
[開演] 17:00 [終演予定] 19:00

[料] 一般6,000円(当日6,500円)(全席指定)  
 [所] 中津文化会館 大ホール  
 [問] 中津文化会館 ☎0979-24-1155

### 鈴木おさむ講演会 ～仕事とテレビのはなし、話します!～

9/7(土)  
[開講] 14:00 [終了予定] 15:30

[料] 一般2,500円、高校生以下1,000円(全席指定)  
 [出] 講師:鈴木おさむ  
 [所] パトリア日田 大ホール(やまびこ)  
 [問] 日田市民文化会館「パトリア日田」 ☎0973-25-500

## gallery MAPO

大分県立美術館 2階にて開催中

つくりたいから、つくる。描きたいものを、描く。  
 『gallery MAPO』は、自らの思いを自由に表現した作品を紹介するコーナーです。こうした表現は「アールブリュット(生の芸術)」や「アウトサイダーアート」などと呼ばれています。「MAPO」とは「magic pocket」……「魔法のポケット」という意味を込めました。小さなポケットから魔法のように生み出される不思議な作品たちをイメージしています。大分県内で活躍するアーティストの「生」の表現を、ゆっくりとお楽しみください。

※公演内容が変更となる場合があります。詳しくは各館にお問合せください。

iichiko音の泉ホール



天井  
美しい響きはそのままに、安全性を向上

iichikoグランシアタ



この工事では、天井を一度剥がし、内部の構造をボルトで吊っていたものから鉄骨に直接固定する作業を行いました。工事中も、響きの確認をしながら進めました。

着脱可能席を設置

着脱可能席の増設・新設により、車椅子対応エリアがiichikoグランシアタは18席から33席、iichiko音の泉ホールは6席から16席になりました。



トイレの使用状況が一目瞭然!

iichikoグランシアタ1階の女性用お手洗いリニューアル



公演アンケートなどで、お客さまからのご要望が多かった「トイレを増やしてほしい」という声に応え、個室を増設しました。入口には使用状況が一目でわかる案内板を設置。また、各個室にも使用中を点灯してお知らせするランプが! 広々としたパウダーコーナーもあります。

天井改修工事が完了しました!

13か月に及ぶ天井耐震改修工事が終了し、iichikoグランシアタは5月19日、iichiko音の泉ホールは6月1日より利用を再開しました。より利用しやすく、安全なホールとして、これからもたくさんのお客様の心弾む公演をご提供してまいります。

iichiko Grand Theater

## JUNIOR ORCHESTRA

iichikoグランシアタ  
ジュニアオーケストラ

2024年度のコンサート情報 3月の定期演奏会以外にも活躍の場が広がるジュニアオーケ! 今年度の演奏スケジュールを発表します。

8/3(土)、4(日) 10:00~14:00 ※参加無料

iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ フェスティバル

楽器体験やオーケストラの一員として一緒に演奏ができる特別な2日間を今年も開催!

[会場] iichikoグランシアタ、iichiko SpaceBe  
 [対象] 小学1年生~高校2年生(要事前申込)

体験の成果を、団員と共に発表するコンサートも開催!  
 『ジョイントコンサート』4日(日) 13:00~14:00 ※入場無料(全席自由)

8/25(日) 13:30~14:40

北部九州ジュニアオーケストラ フェスティバル

福岡、熊本、佐世保の仲間たちと共に演奏するこの日だけのコンサート

[会場] 福岡シンフォニーホール(アクロス福岡) [指揮] 下野竜也  
 [料金] 一般1,000円、高校生以下500円

11/10(日) 13:30~14:40 ※入場は関係者のみ

第43回全国豊かな海づくり大会

天皇皇后両陛下がご臨幸して43年ぶりに大分で開催される大会に音楽で華を添えます

[会場] iichikoグランシアタ

2/16(日) 15:00~16:30(予定) ※入場無料

おでかけオーケストラコンサート

iichikoグランシアタを飛び出して、竹田市へおでかけ! 地域の音楽団体との共演(予定)や楽器体験も楽しみいただきます

[会場] グランツタけた 廉太郎ホール(竹田市)  
 [曲目] 瀧廉太郎/花(オーケストラ版) ほか

3/20(木・祝) 12:30~13:00(予定) ※観覧無料

iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラがOPAMにやってきました!

すっかり恒例となったOPAMでのコンサート。春到来のこの時期にジュニアの心躍る音色をお届けします

[会場] 大分県立美術館 1階 アトリウム

3/30(日) 14:00~16:00

iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ 第16回定期演奏会

名曲揃いの演奏会。子どもたちの情緒ゆたかな表現をご堪能ください

[会場] iichikoグランシアタ [指揮] 喜古忠理香 [ピアノ] 前田健治  
 [曲目] スマタナ/連作交響詩「わが祖国」♪「モルダウ」、  
 ガーシュウィン/ラプソディ・イン・ブルー、ドヴォルザーク/交響曲第9番「新世界」♪  
 [料金] 一般1,000円、高校生以下500円、未就学児 無料(4歳以上入場可)

いち早く予約！  
お得に鑑賞！

# びびメンバー大募集！



「友の会びび」とは大分県立美術館 (OPAM) と iichiko 総合文化センターを中心に、大分県の芸術・文化を多くの皆さんに楽しんでもらうメンバーシップです。

## 会員になると様々な特典が！

- 01 OPAM主催展覧会の無料鑑賞・割引
- 02 iichiko総合文化センター主催・共催のチケット先行予約・割引
- 03 OPAMとiichiko総合文化センターの限定動画を観ることができる
- 04 駐車場券進呈
- 05 “びびSHOP”加盟施設で特別サービスがある などなど…

メンバーステージと年会費

KOTOBUKI
10,000円
TAKASAGO
5,000円
UME
2,500円

## びびSHOP

大分市内の飲食店をご紹介します！  
メンバーズカードの提示で以下のサービスが受けられます。

びびSHOP一覧



<p>カフェ シャリテ <b>café Charité</b> 大分市寿町2-1 (大分県立美術館 2F)</p>  <p>単品コーヒー110円引き</p>	<p>ホテル日航大分 オアシスタワー 大分市高砂町2-48</p>  <p>ご宿泊「基本プラン」より5%割引/ レストランでのご優待(KOTOBUKI 5%割引、 TAKASAGO・UME 3%割引)</p>	<p>Modern Chinese Restaurant <b>OPERA</b> 大分市都町2-1-7 (アートホテル大分1F)</p>  <p>10%割引</p>
<p>ソイカフェ <b>soy cafe</b> 大分市中央町3-5-16 (wazawazaビル1F)</p>  <p>お食事利用の方に 季節のミニスイーツサービス</p>	<p>お茶の姫の園 和カフェ 「ひめのえん」 大分市末広町2-5-12</p>  <p>2,000円以上お買上の方に 緑茶1煎パックプレゼント</p>	<p>焼肉レストラン <b>平安閣</b> 大分市末広町2-2-5</p>  <p>お食事の方に コーヒーサービス</p>
<p>メゾンドエヌ <b>Maison de N</b> 大分市中央町4-1-26</p>  <p>全コース料理5%割引</p>	<p>たじまや <b>菓寮 但馬屋</b> 大分市府内町2-1-4 (トキハ本店地下2F)</p>  <p>お買上または茶房ご利用の方に 銘菓「三笠野」or「荒城の月」1個プレゼント ※本店(竹田市)でも同じサービスがあります</p>	<p>大分中島 <b>京屋本店</b> 大分市中島東3-4-18</p>  <p>お弁当ご注文の人数分の お茶サービス</p>

- 特典内容はメンバーステージによって異なります。
- MEJIRO会員(無料)もあります。(情報誌等でお伝えしきれない情報をタイムリーに配信します)

次回は大分市以外の飲食店をご紹介します!!

抽選で/  
読者プレゼント!!

プレゼントのご応募は  
アンケートフォームから

応募はこちら▶



1 LOQI エコバッグ  
(神奈川冲浪裏)

1名様

2 MiWガーゼハンカチ  
(ランダムでお届けします)

3名様

3 招待券

- ・十三代目 市川團十郎白猿襲名披露巡業 ベア2組4名様
- ・北斎と広重展 …………… ベア5組10名様
- ・虫展 …………… ベア5組10名様

※厳選なる抽選のうえ、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。  
※ご応募に際してご記入いただいたお客様の個人情報は、当キャンペーンのプレゼント発送にのみ使用いたします。

締め切り  
7/30(火)  
23:59

問合せ・申込先

(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団  
大分県芸術文化友の会 びび

〒870-0029  
大分市高砂町2-33  
E-mail bivi@opam.jp  
tel.097-533-4025  
fax.097-533-4050

「友の会びび」  
詳細はこちら

